

佐渡・羽茂地区 新規就農者の皆さん

島暮らしと就農




◆ 平山貴之 ◆◆◆
◆ 平山実里 ◆◆◆

H25. 1~H26. 12 農業研修（羽茂農業振興公社）
H27. 1~ 就農
おけさ柿 53a / ブルーベリー5a / 農産物加工



 平山農園
Sado, island fruits & veggies

私は現在、夫とともに生まれ故郷である佐渡ヶ島へ移住し、特産品である「おけさ柿」の栽培に携わっています。小さな頃から広がっていた柿畑は、高齢化と担い手不足により年々縮小されています。

地域に戻り感じたのは、生柿栽培だけでは生活していくには経済的に厳しいと知りました。しかし、小さな頃には気付かなかった産地を支える素晴らしい栽培技術があることも知りました。それは継承すべき大切なことのように思いました。

私たちは2年間の研修を経て「平山農園」として特産品の「おけさ柿」栽培を始めました。そして、その生柿を全量使って加工品にする事で経営の安定化を図ろうとしています。

また、もっと色々な人に佐渡産果物を味わってほしいという思いから、佐渡産果物を使った農産物加工も始めました。現在はブルーベリーの栽培も始めておりそれらを使ったドライフルーツやコンポート、フルーツソースの製造販売を行っています。その他に、地域農家さんから購入したこだわりの果物（苺・林檎・ルレクチェ等）の加工製造を行っています。加工品を通じて、佐渡産の美味しい果物を広めていけたらと思います。

私達は今、とても恵まれた環境で農業を学ぶ事が出来ています。地域には技術を持った先輩達が多く、長年研究してきたであろう技術を惜しげもなく教えて下さいます。まだまだ失敗する事や分からない事が多く、頭を悩ませる事もありますが、農業のやりがいを感じています。これから、人生の選択肢として農業に興味を持つ人が増えてくれればと思っています。

◆ 高野陽二 ◆◆◆

H23. 4~H26. 3 農業研修（羽茂農業振興公社）
（先進農家：採種・果樹）
H26. 4~ 就農
おけさ柿 85 a / 採種(露地) 10 a



家族の勧めがきっかけ

私は以前勤めていた職場を退職する前に、家族から勧められたのがきっかけで農業を始めました。

最初は羽茂農業振興公社で研修を受け、その後約1年半果樹栽培と採種をしている農家で研修を受けて、柿と甘藍採種がおもしろそうだと思いました。国の新規就農対策の補助金を受けて、4年前に柿と採種の農業経営を始めました。

作業の効率化と負担軽減

基本的に一人で作業していて、限られた時間で作業を終えなければいけないので、作業の効率化と負担の軽減はいつも意識しています。

採種は一人でも効率よく進むよう使用する道具等を工夫しています。いかにして無駄を省いて楽にやれるかが大事だと思っています。

柿の出荷時は忙しいので、収穫作業を家族に手伝ってもらったりしています。

今現在の課題を解決していきたい

畑の肥培管理や病害虫の対策が難しいと感じています。採種の畑が昨年から変わったので、以前と同じ肥培管理とはいかず苦勞しています。また、柿にダニが発生したり採種で病気が出たり、防除暦通りでは防ぎきれないこともあります。農家の方から教えてもらって対応しています。機械についても、今は農業公社や農家の方から借りることができて助かっています。

農業は自然が相手なのでなかなか思うようにいかな いのが大変ですが、作物の出来が思っていた以上に良かったときは、やって良かったと思います。今現在の課題を少しでも解消していき、作物の品質と収量を上げていきたいと思っています。



◆ 清水一繁 ◆◆◆

H25 秋 農業体験（柿の収穫作業）
H26. 4~H28. 3 農業研修（羽茂農業振興公社）
（先進農家：アスパラガス）
H28. 4~ 就農
おけさ柿 40a / アスパラガス 10a



私は新規就農支援制度を利用し、平成28年の4月に農家になりました。

以前は様々な職場を経験してきましたので、新しい環境にもすぐに適応する事が出来ました。親類等もない、全くの知らない土地での就農となりましたが楽しくやっています。

農地について

私は地元の農家さんから、農地を借りています。内訳は柿（生柿出荷）4,000 m²と、アスパラガス 1,000 m²です。農地の賃料は年間 60,000 円ぐらいになります。

現在羽茂農業振興公社では約 60,000 m²（小さめのショッピングモールぐらい）の柿園地を管理耕作しています。ひとまとまりではなく、7,000 m²、5,000 m²など園地が点在しているので、自分でやりやすい園地を借りることが出来ます。また地元の農家さんから良い話があれば、その畑を借りることもできます。

研修について

研修1年目は年間の流れを覚えることと、1つ1つの作業に慣れていくことが大切です。

誰も初めてやるのが最初から上手く出来るはずがありません。講師や地元の農家さん、先輩などとコミュニケーションをとって知識と経験を蓄えることになります。

研修2年目は自分の受け持つ農地をメインに実践的な研修になります。前年の経験を活かして研修生達だけで作業を行い、どのような結果となるかを見てもらいます。独立してから、よりいい成果を出すための指標になると思います。

地域の農業の特徴について

水稻、柿が軸になっております。空いている時期に露地野菜、他の果樹などを入れ複合経営を行っています。



◇私個人の農業の特徴◇◇◇◇◇

柿とアスパラガスを経営しており、柿は生出荷のみです。

年間の農業収入は少ないので、空いている時には、地元の農家さんや農業公社の手伝いを行っています。

基本的に過疎地のため人手がありませんので、日雇いという形で収入を得ることができます。



定植1年目のアスパラ圃場



研修受入先の農家ご夫妻

作目について

柿の生出荷、柿の加工品(干し柿・あんぼ柿)、アスパラガス、ル・レクチェ(洋梨)、甘藍の採種(キャベツの種)などが新規就農者に人気のある作目になります。

◆柿の生出荷：収穫した柿を農協に卸し、収入を得る。年1回の収入です。

◆柿の加工品：収穫した柿を農家個人が加工して出荷する。

そのため加工施設が必要になる。

◆アスパラガス：収穫期が春・夏と2回あり、毎月の収入を得ることが出来る。

◆ル・レクチェ：幼木の育成期間が長いが単価は柿の3倍以上になる。

収穫した果実を追熟する場所が必要になる。

◆採種：坂田種苗KKと提携して採種(農家が蒔く種の生産)事業を行っています。

露地甘藍採種の他にビニールハウスで花や野菜の原種(農家に販売する種)の生産を行っている。

就農するための1歩について

農業や田舎暮らしに興味がある人、具体的な作目が決まってい場所を探している人など、人それぞれの状況があると思います。私の場合は漠然とした『農業がやりたい』という考えだけから始まり、5年前の新・農業人フェアに客として話を聞きに来ました。10ぐらいのブースで話を伺い、農業体験が可能かどうかを判断しました。こういうのは実際に現地に行くことが重要になります。百聞は一見に如かずです。実際に現地で農業を体験し、自分に出来るのか、地域の人付き合いは大丈夫かなど判断して、腹が決まれば就農です。

私は独身ですから、身一つで決定することが可能でした。しかしご家族での就農は、より難しい事もあると思います。家族間でよく話をし、より良い判断をすることが大切です。

田舎暮らしについて

地域に慣れることと受け入れられることに越したことはないので、いろいろな会合に出席し自分を売り込むことから始めるといいです。私は自己紹介の時に前職はIT関係でしたので、パソコンや携帯電話に詳しいと言いました。するとパソコンでの会計書類の作成や携帯電話の設定変更など頼まれ事が増え、地域の方と関わることでお互いに人柄が分かり、いい付き合いが出来ました。

積極的にコミュニケーションをとることで、人づてに農作業のアルバイトや良い条件の畑を紹介されることが増え、住みやすい状況になると思います。

例えば、自分の小さな畑と日雇いバイトで生活をすることも可能です

農家になって

何でも一から始めることは難しいですが、今までの経験が必ず役に立ちます。また地元の方々も協力的で、疑問や不安の解決方法を教えてくれます。やる気があるぞってアピールすれば味方はどんどん増えます。なかには、『どうせすぐ帰るんでしょ』って言う人もいますが気にせず、一步一步進んで行けば大丈夫です。

私は農家として独立してから、クリアする問題は毎日のようにあります。自分なりに改善する方法を考えて実行してみて、上手く行けば儲けもん程度の心構えで、やりたい放題やっています。このように自分で考えて自由に実行できることが個人農家の利点だと思います。

新しい人が入ってくれば、また新しい方法が見つかるかもしれません。農業を今後の選択肢の一つとして頭の片隅にでも置いて見て下さい。



◆ 村井良平 ◆◆◆

H27. 秋 農業体験（柿の収穫作業）
H28. 4~H30. 3 農業研修（羽茂農業振興公社）
（先進農家：アスパラガス）
H30. 4~ 就農
おけさ柿 68a / 農作業受託



北海道の札幌市出身です。

私は、祖父が新潟の旧新津市出身で親戚がそちらに住んでおり、おけさ柿やルレクチエ、笹団子等を送ってもらい子供のころから新潟の食材を食べていました。

また、以前より農業に興味があり、農業に関する相談会「新・農業人フェア」で羽茂を知り、おけさ柿の収穫体験に参加して実際に農作業を体験したことが、羽茂での就農を決めるきっかけとなりました。



2年間の農業研修では、羽茂農業振興公社での「おけさ柿」の栽培管理と先進農家での「アスパラガス」栽培方法の研修を受け、平成30年4月に就農しました。

農業以外でも、積極的に地域行事に参加して地域の人との交流を大切にしています。

◆ 金子靖隆 ◆◆◆

H23. 6~H26. 3 農業研修（羽茂農業振興公社）
（先進農家：アスパラガス）
H26. 4~ 就農
おけさ柿 67.7a



◆ 中原正貴 ◆◆◆

H26. 12~ 就農
おけさ柿 97a / ルレクチエ 20a (共同)

「母の実家の柿園を守りたい」という思いから

新潟市からIターンし、農業を始めました。

新たに、指導してくれる先進農家と共同でルレクチエの栽培にも取り組んでいます。

◆ 島倉 学 ◆◆◆◆
 ◆ 島倉 亜希 ◆◆◆◆



H28. 4~H30. 3 農業研修（羽茂農業振興公社）
 （先進農家：アンポ干柿加工・露地採種）
 H30. 4~ 就農
 おけさ柿 50a / 露地採種 10a / 農産物加工

私は、東京都の多摩川に沿う梨の産地、稲城市で生まれ育ちました。土まみれの軍手で汗を拭い、大きく実った梨に目を細める叔父や叔母の姿が今でも目に焼き付いています。その幸せな光景が、長い間私を農業へ誘っていたのでしょうか。20年以上務めた会社を早期退職し、横浜市から家族5人で移住。2年間の研修を経て、この4月から農家になりました。

初めて訪れたこの土地には、美味しいお米、野菜に果物、そして何よりも温かい人々が待っていました。

妻も一緒にハサミを手に取り、子供たちは自然を喜び、忘れかけていた「家族と一緒に時を過ごす」という夢が叶った気がします。

あなたの夢は何ですか？

それは一歩踏み出すことで叶うものではないでしょうか？

